



### 門出を祝い、 中学生とロータリークラブが花植え

3月11日(土)、南九州大崎ロータリークラブの皆さんが大崎中学校の3年生と花の苗植えをおこない交流しました。これは、町内および有明町の小中学生の卒業と入学を花で祝いたいと、同クラブが平成10年の当初から取り組んでおり、今年は同中学生とツルコザクラやガザニアを10鉢分植えました。同クラブの福田仁司会長は「卒業式を3日後に控えた皆さんおめでとうございます。皆さんの卒業式に、また、4月の入学式にたくさんの花で彩っていただくと幸いです。皆さんはそれぞれの道を進みますが、成人式など誰一人欠けることなくみんなで集まれる日までたくさん経験し楽しんでください」と話されました。



### 五穀豊穡と繁栄を願い神舞奉納

3月12日(日)、野方地区活性化センターにおいて、神舞が奉納されました。

例年3月におこなわれる「荒佐春祭り」で披露されていますが、新型コロナウイルスの影響により前年に引き続き祭りが中止となったため、神舞の奉納のみおこなわれました。

奉納された舞は「無上」<sup>まいあげ</sup>「薙刀舞」<sup>なぎなたまい</sup>「四人鬼神舞」<sup>よつたい きじんまい</sup>など7演目で、力強く表現された舞に五穀豊穡と繁栄の願いが込められました。



### オープンゴルフ大会実行委員会が 町社協へ寄付

3月16日(木)、大崎オープンゴルフ大会実行委員会が町社会福祉協議会へ寄付金の贈呈をおこないました。

これは、大崎オープンゴルフ大会が、過去22回の開催実績をもって終了したことを節目に、大会運営の繰越金全額を地域に還元するため寄付されたものです。

同実行委員の皆さんは「ご支援いただいた関係者の皆さまへの感謝と地域福祉のため、福祉事業にお役に立てください」と話されました。



### 地域活性化起業人の派遣協定を締結

3月13日(月)、町と株式会社パート2(東京都)が地域活性化起業人の派遣協定を締結しました。本協定は、総務省が推進する「地域活性化起業人」プログラムを活用し、同社から本町に職員を派遣することで、本町の魅力と価値を高めるシティプロモーション※の加速を図ります。同社の小松徹 代表取締役社長は「主な使命は、町内外の人にもっと町を知っていただき好きになっていただく、その先に移住定住を思い描いていただく、そのためのプロモーション活動です。今の自分にできることのすべてを大崎町に使い、町の発展に貢献したい」と意気込みを話されました。

※シティプロモーションとは、地域の魅力を内外に発信し、その地域にヒト・モノ・カネを呼び込み地域経済を活性化させる活動のこと